

プロの 本読みテクニック! ④

図書館で働いている人、本や読書について勉強したことがある人は、自分で読む本をこんなふうを選んでいきます。本を探すときのヒントにしましょう。

POINT 1

気になる本は冒頭の60ページぐらいを読んで、実際に読むかを決めます。

POINT 2

本とインターネットの情報の違いを知っておくと便利です。例えば、旅行用の地図は印刷されたもののほうがいいですが、現地の最新情報はインターネットのほうが得やすいです。

Yさん (30歳代男性)

大学時代は化学を学んでいました。今は大学図書館で働いています。大型書店に足を運んで、じっくり本を選ぶのが趣味です。

POINT 3

今までに読んできた著者つながりで本を探すこともあります。好きな著者であれば、とりあえずチェックします。

POINT 4

文体や文章のリズムも気にしてみましよう。前書きと本文の冒頭2~3ページを読んで、自分に合わないと思ったら読むのをやめます。

Yさんお薦めの3冊



リアスの海辺から

はたけやましげあつ
富山重篤

筆者の幼少の頃の思い出として語られる、さまざまな魚介類の漁の様子や料理の描写が素敵。どれもこれもおいしそう。



日本沈没

ちんぼつ
こまつさきょう
小松左京

単行本発刊当時(1973年)はSFとして描かれていましたが、東日本大震災を経験したあとで読むと、ストーリーに対する捉え方が違ってきました。



動的平衡

へいこう
ふくおかしんいち
福岡伸一

分子生物学者が書いた本です。ものの見方が変わるかもしれませんが、『ツチハンミョウのギャンブル』も合わせて。